

西連合町内会だより



令和6年度敬老祝賀会

9月18日（水曜日）11時30分～プリンスホテル国際館パミールにて、西連合町内会主催による敬老祝賀会が開かれました。

秋晴れの素晴らしい天候に恵まれ、最高齢97歳の方をはじめ約90名の長寿者や役員が会場に集まりました。

加藤会長から「家族や地域のために大変なご苦勞をされながらも、今なお健康にご活躍されている方々ばかりです。皆さまの人生の歩み、その豊かな経験と知恵が、今の私たちを支えていることを忘れてはなりません。」と感謝の挨拶がありました。

お弁当に舌鼓を打ちながら、和

やかに歓談後は、おたのしみ余興のスタート。アコーディオンの伴奏により「りんごの唄」や「高原列車は行く」など、懐かしのメロディーを参加者みんなで合唱しました。その後はカラオケ大会で、日頃鍛えた自慢ののどを競いました。歌に合わせて踊りだす人も現れ、会場は大いに盛り上がりました。

地域のお仲間がともに歌い、踊り、笑い、交流を深めるあっという間の2時間でした。

地域のつながりや支え合いが貴重かつ重要になっている昨今、町の礎を築いてくれた方々の笑顔が、今後も安心して暮らせる町を保障してくれているかのような楽しいひと時でした。



女性部より社協へ寄付金の贈呈



お喋り、カラオケ、楽しい時間



活動報告

今年の夏も暑かったですね！西連合町内会の関連活動の一部をご紹介します。

西地区福祉のまち推進センター

7月4日 パークゴルフ会

福祉のまち推進センター主催のパークゴルフ会が開かれました。31人が参加し、青空の下、輪厚国際パークゴルフ場で運動とお喋りを楽しみ、交流を深めました。



7月7日 チャリティバザー

大通・西会館において、女性部の皆さんによるチャリティバザーが実施されました。この時期恒例の大人気イベントとあって、会場は11時30分の開場とともに多くの来場者の熱気で包まれました。特に、西地区の食生活改善推進員が作った

7月24日 夏季夜間防犯パトロール



西地区福祉のまち推進センター

7月24日 福まちサロン栄養講座

「寒天で健康腸活」というテーマで、'かんてんぱぱ'さんのご協力のもと、内臓の機能を高める寒天の効用などについて大変興味深いご講義を頂きました。講義のあとはカロリーゼロでおいしい寒天ゼリーの試食を楽しみました。



7月-8月 ラジオ体操



西第3町内会主催 西第1・2・4町内会共催、「社会を明るくする運動」後援によるラジオ体操が実施されました。7月26日より8月11日までの17日間、日泰寺（南6西9）にて連日20名位・総数420名の参加がありました。

最終日には、子ども参加者へ景品を呈しました。朝の体操は一日の活力になりますね。

7月31日 子ども体験交流会

西地区青少年育成委員会引率のもと、「ふるさと再発見！」と称して小学生35人が豊平川上流、定山溪ダム下流園、小金湯などを訪ねました。太古の昔、遠浅の海の下にあった札幌。そこを悠々と泳いでいたサッポロカイギュウに思いを馳せながら、ダムや資料館を興味深く見学し、お昼は八剣山果樹園山小屋でジンギスカンをほおばりました。



青少年育成委員会・青少年部



女性部

お赤飯やいなりずしはとても美味しいと評判で、あっという間に売り切れてしまいました。各自が持ち寄った衣料品や食器類などが安価で販売され、160人を超える地域の方々が買い物とふれあいを楽しみました。

**防犯・防火部**

午後6時から、まちづくりセンターで出発式を挙行後、拍子木を打ちながら、夜間防犯防火パトロールを実施しました。町内会関係者約40名に加え、中央消防署や中央消防署の皆さんも一緒に、連合町内を3つのブロックに分け、各地域のパトロールを行いました。

交通部**7月12日 夏の交通安全街頭啓発**

中央区民センター付近において、大通・西地区合同夏の交通安全街頭啓発が行われました。

町内会や交通安全実践会、交通安全指導員会、交通安全母の会の方々がドライバーにスピードダウンやシートベルト着用などの交通安全を呼びかけました。

**福祉部協力事業****7月29日 ちびっこサマーランド**

乳幼児～小学校低学年を対象にした、「親子で集まろう！ちびっこサマーランド」が開催されました。あいにくの雨で外の水遊び行事は中止になってしまいましたが、多くの親子連れが訪れ、屋内で輪投げやけん玉などを楽しみました。

**衛生部****8月6日 クリーンミーティング**

“さっぽろのごみ処事情と「新スリムシティさっぽろ計画～減らそう100g～」”をテーマに市の環境局職員からご講義頂きました。ごみの分別や出し方、減量、リサイクルなどについて改めて身近なことながら認識をアップデート出来ました。

9月11日 啓発清掃

清掃運動の普及啓発のため、町内の清掃活動を実施しました。あいにくの天候にも関わらず30名近い地域の方々が大通・西会館前に集まりました。その後お天気も回復、なごやかに会話しながらごみを拾いました。日頃から住民のみなさんがボランティアで道路清掃をされているため、道路上のごみは少なかったのですが、それでもそれなりの量となっていました。

衛生部**10月1・3日 赤い羽根共同募金**

地下鉄西11丁目駅付近で10月1日には女性部が、10月3日には福祉部が、赤い羽根共同募金の協力と呼びかけました。共同募金は地域の福祉活動や災害時の被災者支援に役立てられます。

**女性部・福祉部**



令和6年8月31日土曜日、札幌市立二条小学校にて令和6年度中央区防災訓練が執り行われました。中央区全16連合町内会、消防団、そして13のまちづくりセンターが集まり、グループごとに防災に対する知識を深め、体験を通して万が一の際に備えました。

前日に強い雨が降ったため急遽グラウンドの活用を中止し、体育館と玄関前の広いピロティを使って開催されました。体育館では応急救護訓練、避難所開設訓練、防災用品の展示が実施され、特に今回新たに加わった「避難所設置訓練」では、体育館における一人당りに割り当てる面積や、居住人数に対する装備品の数を改めて知ることが出来ました。また、「在宅避難」の概念を学び、そのために必要な物品を常に意識して備えておくことが大切だ、と知りました。

中央区は多くの企業の社屋や商店街などが集まる商業地域でもあります。各企業の防災対策商品やシステムの展示場で、普段顔を合わない方々が、町内会の垣根を超えて「土嚢袋を町内会でストックしておいた方が良いかな？」と議論をかわしたり、一緒にさまざまな避難、救護などの体験を通じた交流が出来ました。いざと言うときの“助け合い”のハードルがぐっと下がった気がします。防災訓練の最も大切な意義かもしれませんね。

まちづくりってどんな活動？

「まちづくり」というとどんな活動のイメージがありますか？時代、地域性、関わる人や産業などによってまちづくり活動の内容は変化します。自分たちのまちがどんな時代にどんな役割を持っているのか、みんなで認識する活動がまちづくりなのかもしれません。

「大通及びその周辺のまちづくり方針」（札幌市まちづくり政策局）を参照すると、社会変化に合わせた①発展②暮らし③防災の視点を重視して政策を組み立てていることがわかります。中でも①発展とは、「**市民の愛着の醸成と魅力の発信**」だと提言し、市民・企業・行政などが積極的に協働する主体的なまちづくりを重要な取り組みとしています。では、それってどう実現するのでしょうか？札幌市は近隣のゴミ拾い・清掃、凍結道路への砂撒きなど個人の行動も愛着や魅力発信を測る指標にしています。自分が暮らすまちを少しでもより気持ち良く過ごせるようにする活動、それはもうすでに魅力あるまちづくりの一環なのです。



町内会の活動を促進し、若い世代の入会者を増やすためのノウハウなどをまとめたリーフレット。具体的な事例付きで様々な町内会の実践活動も紹介している。

西連合町内会だより 第29号 (2024/11月発行)

■発行／中央区西連合町内会 ■協力／大通・西まちづくりセンター

〒060-0062 札幌市中央区南2条西15丁目291-98

<https://www.city.sapporo.jp/chuo/odorinishi>

■編集／Dala Space (www.dalaspace.org)

●電話／011-280-7033

●FAX／011-280-7051

※中央区西連合町内会に関するお問い合わせは大通・西まちづくりセンターまで